

第5学年、第6学年（複式） 国語科学習指導案

三次市立川西小学校  
指導教諭 大澤 八千枝

日時	平成25年10月7日（月）	児童数	5学年9名	6学年5名			
単元名	物語リーフレットをつくろう ～この物語の見どころは？～ 教材「大造じいさんとがん」 椋 嶋十（光村図書5年）			物語ポスターをつくろう ～感動を伝える～ 教材「海の命」 立松和平（光村図書6年）			
	提案	物語リーフレットを作ることを通して、中心人物と対人物の関係の変化やそこから浮き彫りになる物語のテーマ、表現の効果を考える「思考の場」づくりを提案します。		提案	物語ポスターをつくることを通して、感動の中心となる中心人物と周辺人物との関係やクライマックスをとらえ、題名に込められたテーマを考える「思考の場」づくりを提案します。		
単元について			単元について				
<p>○ 本単元は、学習指導要領第5学年及び第6学年「読むこと」の指導事項エ「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」及び指導事項オ「本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。」を受け、中心人物である大造じいさんと対人物である残雪の関係を読み取らせる。そして、視点や表現技法に即して中心人物の変容を考える力、主題をとらえる力を付けることをねらいとした。</p> <p>主教材「大造じいさんとがん」は、猟師としてのプライドをもつ大造じいさんとがんの頭領である残雪との、人間と動物という関係を超えたかかわり合いが描かれている。残雪を「たかが鳥」「狩りの獲物」として見ていた大造じいさんが、おとりのガンを必死で助けようとする残雪の姿に触れ、「ただの鳥に対してのような気がしませんでした」と変容する。そして、「堂々と戦う相手」としての認識をもつに至る。こうした大造じいさんと残雪の関係の変化を読むことが学習の中心となる。</p> <p>物語は大造じいさんの心情の変化を中心に展開されており、その変容は、大造じいさんの人物像や生き方を反映している。児童は、残雪や大造じいさんの行動に対して感動をもって読み進めることができると考える。表現の特質として、視点の転換、声喩・比喩・語り口調、情景描写等があげられ、それらの効果を内容面と関連させながら、読む力をつけることができる。そして「相手の素晴らしさを認めることは、自分の生き方を豊かにすることである。」という主題に迫ることができる。</p> <p>○ 本学級の児童は、これまで「のどがかわいた」「注文の多い料理店」の学習において、「10の観点」で物語を読んだり、人物関係からテーマについて考えたりする学習を行ってきた。人物の変容や物語の構造、表現の効果についても学習している。物語全体を見通しテーマを意識した読みができつつある。「基礎・基本」定着状況調査においても一定の成果を見ることができた。しかし「場面の移り変わりや情景の想像」を問う設問の正答率は低く、さらに人物の変容のわけや作品のテーマをつかむ力を伸ばす必要があることから、本単元では、人物関係の変化を着眼点にし、人物の変容の理由をとらえさせると共に人としての生き方も学ばせたい。</p> <p>○ 指導にあたっては、中心人物と対人物の関係を着眼点にして大造じいさんの生き方をとらえさせたい。そのために、視点をふまえて4年間の大造じいさんの心情の変化を読み進め、主題に迫る力を付けていきたい。その際、どこで、残雪の見方が大きく変わったかを話し合わせる。また、クライマックスの直前に「残雪の目には、・・・」と、残雪の視点に切り替えることで、そのドラマ性を表現するという視点の転換の効果にも気づかせたい。さらに、物語中にちりばめられた情景描写が、大造じいさんの心情を描き出していることや擬態語・擬音語から、その光景がありありとイメージできることなど表現技法が人物像を表現する効果があることをとらえさせたい。本時は、「卑怯なやり方とは、どんなやり方か」について話し合い、「この物語は～が伝わってきます」とまとめることで、二人の関係をとらえさせテーマに迫っていきたい。</p> <p>物語リーフレット作りという言語活動により、この物語の「見どころ」を紹介するという目的意識をもたせ、「テーマ」「クライマックス」「展開の見どころ」「表現の見どころ」を観点に、表現技法と人物の心情や変容を相関的に読む力を付けていきたい。</p>			<p>○ 本単元は、学習指導要領第5学年及び第6学年「読むこと」の指導事項エ「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」を受け、叙述に即して登場人物の相互関係をとらえ、物語のテーマをとらえる力を付けることをねらいとした。また、並行読書を行い学習内容を活用して自分がとらえたテーマを表現する力へと高めることをねらいとする。</p> <p>主教材「海の命」は、海を舞台にした中心人物太一の成長物語である。太一の成長は、登場人物とのかかわりの中で遂げられていく。クエとの戦いに敗れ、命を落としてしまう「おとう」は、太一にとっては最後まで大きな存在である。「与吉じいさ」は、太一に漁師としての生き方を教えてくれた重要な人物である。また、登場はわずかだが、「母」の存在も見逃せない。そして、「瀬の主（クエ）」は、太一が追い求めた魚であり、「海の命」を象徴する存在として描かれている。</p> <p>物語のクライマックスは、太一が瀬の主と対峙する場面であり「水の中でふっとほほえみ銀のあぶくを出した」の一文は、太一の転換点をとらえられる。しかし、太一がなぜ瀬の主を仕留めなかったのかははっきりとした答えは書かれていない。太一は「本当の一人前の漁師」になれたのか。それをあきらめたのか。もし、瀬の主を仕留めていたら、物語はどのように展開していたのか。これらの疑問を解釈することで物語をより深く味わうことができると考える。</p> <p>○ 本学級の児童は、これまで「カレーライス」「ばらの谷」の学習において、「10の観点」で物語を自力で読み、その上で中心人物の変容や登場人物との関係を読み取ってきた。それらの学習において、題名やキーワードが象徴しているものを考えテーマに迫る読みもできるようになってきている。また、表現に即して自分の解釈を加えた深い読みができる児童もいるが個人差が大きい。本単元では、児童の実態を考慮しつつ、作品全体を読む力を伸ばし、キーワードとなる会話を焦点化して、作品に表現されている事象や題名を象徴的に読み進める。そして、テーマをとらえ作品を自分なりに意味づける力を伸ばしていきたいと考える。</p> <p>○ 指導にあたっては、まず、この物語の読後感から学習をスタートさせたい。「感動的」「太一の生き方が素敵」などが挙げられるであろう。そしてそれは、太一がクエを討たなかったという場面に集約され、「なぜ討たなかったのか」「村一番の猟師とは」という疑問が浮き彫りになる。その解決の糸口になるのが題名であり、「千びきに一びき」という与吉じいさの言葉や「海のめぐみ」というおとうの言葉である。それらを解釈させることで、海は、すべての命の源であり、海に生きるためには海のめぐみを大切にしながら生きていくことが必要であるというメッセージをとらえさせる。父への思いや与吉じいさの教えを胸に、海の命が変わらぬように海で生き続け、村一番の漁師であり続けた太一の姿をとらえさせたい。この物語には、村一番の漁師になるという太一の成長と、瀬の主を自然の一部とした、いのちのつながりという二つのメッセージが含まれている。児童の胸にはどちらが大きく響くのだろう。</p> <p>ポスター作りという言語活動により、感動したことをポスターに表わそうという目的意識をもたせ、作品の持つ情景の美しさや人としての生き方が醸し出す読後感、人物の関係、物語のテーマを自分なりに表現させたい。</p>				
単元の目標		本単元の指導内容		単元の目標		本単元の指導内容	
<p>○中心人物と対人物の関係を着眼点に物語を読む。(国語への関心・意欲・態度)</p> <p>○登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。(学習指導要領指導事項Cエ)</p> <p>○本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。(学習指導要領指導事項Cオ)</p> <p>○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。 (国語の特質に関する事項イ(キ))</p>		<p>○中心人物・対人物の関係をとらえる</p> <p>○結末の意図をとらえ意味付ける</p> <p>○作品のテーマをとらえる視点を考える</p>		<p>○物語のテーマをさぐりながら読む。(国語への関心・意欲・態度)</p> <p>○登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。(学習指導要領指導事項Cエ)</p> <p>○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。 (国語の特質に関する事項イ(キ))</p>		<p>○物語の構造をとらえる</p> <p>○中心人物と周辺人物の関係をとらえる</p> <p>○題名の象徴性をとらえる</p> <p>○作品のテーマをとらえる</p>	
評価規準				評価規準			
国語への関心・意欲・態度		読む能力		国語への関心・意欲・態度		読む能力	
物語リーフレットをかくという目的意識をもち、意欲的に文章を読もうとしている。		○人物の関係や場面の移り変わり、人物の変容とそのわけを読み取っている。 ○内容と表現を相関的にとらえることができている。		物語リーフレットをかくという目的意識をもち、意欲的に文章を読もうとしている。		人物の心情の変化や人物関係を考えながら作品のテーマをとらえ、それを象徴する言葉にまとめることができている。	
		言語についての知識・理解・技能		言語についての知識・理解・技能		言語についての知識・理解・技能	
		物語の前書きの効果について理解している。		物語ポスターをかくという目的意識をもち、意欲的に文章を読もうとしている。		物語の構成をとらえたり、情景描写や象徴されているものを理解したりしている。	

5 学年指導計画 (全 10 時間)					
次	学習の展開	評価			
		関	読	言	評価方法
一 次	・題名読みをし、大造じいさんと残雪の関係を考えながら学習材を読む。 [1]	○			・中心人物と対人物の関係を視点に意欲的に話し合っている。 (関・意) 発言
	・「10の観点」や挿絵をもとに、人物像や物語の設定、視点をとらえる。 [2] 「この物語の特徴をとらえよう」 「この物語を表現する活動は何がいいかな？」 物語リーフレットで物語の見どころを紹介しよう		○	○	・10の観点をもとに人物や物語の特徴を読み取り、リーフレットに表わすという意欲をもって話し合っている。 (読む) ノート ・物語の構造や表現の特徴をとらえている。 (言語)
二 次	リーフレットの内容を考えながら物語を読もう ・物語の「あらすじ」をまとめる。 [3] 大造じいさんの作戦 (どんな事件があったか) をとらえ大造じいさんの残雪に対する気持ちをとらえる。「どの作戦が効果的だったかな」		○		・各年の大造じいさんの作戦をとらえ、その作戦にこめた気持ちから残雪に対する見方を読み取っている。 (読む) 観察 発言 ノート
	・「ひきょうなやり方」「正々堂々」の意味を考え、二人の関係の変化・テーマをとらえる。 【本時】 [4] 「大造じいさんはひきょうなのかな」 「どんな関係に変わったのだろう」		○		・大造じいさんと残雪の関係の変化をとらえ、物語を意味付けることができる。 (読む) 観察 発言 ノート
	・テーマをより伝える展開はどの部分かを話し合う。 [5] 「テーマが伝わってくる物語の展開はどこですか？」		○		・物語の展開が大造じいさんと残雪の関係の変化を表していることをとらえることができる。 (読む) 観察 発言 ノート
	・大造じいさんの残雪に対する見方の変容を読み取る。 [6] 「大造じいさんが一番感動したのはどんなことだろう。」		○		・クライマックスから大造じいさんの残雪への見方の変化を読み取っている。 (読む) 観察 発言 ノート
	・情景描写や視点、声喩とテーマを関連させ、その効果を話し合う。 [7][8] 「情景描写や色彩語、声喩はどんな効果があるのだろう。「表現の見どころ」に表わそう。」		○		・大造じいさんの変容と、情景描写や視点の転換、声喩などと関連付けてよむことができる。 (読む) 観察 発言 ノート
	読み取ったことを「物語リーフレット」に表そう ・大造じいさんの心情や残雪との関係を表すリーフレットを作る。 [9]		○		・読み取った人物の関係やテーマを自分の表現で書くことができる。 (読む) 観察 発言 リーフレット
・リーフレットを交流する。 [10]	○		○	・中心人物と対人物の関係を視点に関心をもって物語を読んでいる。 (関・意) リーフレット ・物語の特徴をとらえている。 (言語)	

6 学年指導計画 (全 10 時間)					
次	学習の展開	評価			
		関	読	言	評価方法
一 次	・学習材を読み、読後感を話し合う。物語をポスターに表現するという学習計画を立てる。 [1] 物語ポスターで物語を表現しよう	○	○		・物語をポスターに表すという目的をもって意欲的に話し合っている。 (関・意) 発言 ・物語の読後感を話し合うことができている。 (読む)
	・「10の観点」で内容をまとめ人物像や物語の設定をとらえる。 [2] 「この物語の内容をとらえよう」		○		・叙述をもとに、物語の内容をとらえている。 (読む) ノート
二 次	ポスターの内容を考えながら物語を読もう ・読後感を生かし、一番感動したところとその理由を話し合う。 [3]「一番心に残ったところはどこですか？それは、なぜ？」		○		・物語の出来事や人物の考え、情景などをとらえ、感想を交流することができる。 (読む) 観察 発言 ノート
	・登場人物の海に対する考え方を対比・類比する。 [4] 「人物の海に対する考え方を比べよう」		○		・人物の考え方やそれを表すキーワードを読み取っている。 (読む) 観察 発言 ノート
	・太一の変容を読み取る。 [5] 「太一が変わったところはどこでしょう」		○		・物語のクライマックスから太一の変容を読み取っている。 (読む) 観察 発言 ノート
	・登場人物の相関関係を読み取る。 【本時】 [6] 「太一の変容に一番影響を与えた人物は誰でしょう」 「村一番の猟師とはどういうことかな？」		○		・太一に影響を与えた登場人物の相関関係を読み取っている。 (読む) 観察 発言 ノート
	・題名について考え、テーマをまとめる。 [7] 「題名が意味しているものは何でしょう」		○		・太一の成長をとらえ、物語のテーマを読み取っている。 (読む) 観察 発言 ノート
	読み取ったことをポスターに表そう		○		・読み取った人物の関係やテーマをポスターに表現することができる。 (読む) 観察 発言 ポスター
	・心に残った情景、人物の関係、物語のテーマをポスターに表す。 [8]		○		・物語の構成や表現技法を理解している。 (言語)
三 次	・立松和平作品「いのちシリーズ」を読み、読み取ったことをポスターにまとめる。 【並行読書】 [9]	○		○	・物語をポスターに表すという目的をもち、視点に沿って意欲的に読んでいる。 (関・意) ポスター ・物語の構成を理解している。 (言語)
	・出来上がったポスターを交流する。 [10]	○			・友達のポスターを視点に沿って関心をもち読んでいる。(関・意) 発言 ポスター

**本時の目標** 「ひきょうなやり方」とはどのようなことかを話し合うことを通して、大造じいさんの残雪への見方の変化をとらえ、二人の関係やテーマを表現することができる。

**評価規準** 敵からライバルへ変化した二人の関係をとりえ、大造じいさんの生き方から「正々堂々といきることのすばらしさ」という物語のテーマを表現することができる。

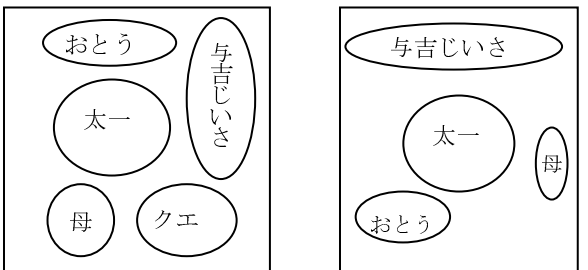
**学習の展開**

評価規準 (評価方法)	指導上の留意点	学習活動
☆ 敵からライバルへ変化した二人の関係をとりえ、大造じいさんの生き方から「正々堂々といきることのすばらしさ」という物語のテーマを表現することができる。(リーフレット・発言)	・前時までの学習を想起し、大造じいさんの変容を確認する。	1 前時までの学習を振り返る。 <b>リーフレットにどのように書けばいいかな</b>
	手立て 「ずっとおりの中に閉じ込めておいてもよかったのでは？」とゆさぶり、残雪を見送る大造じいさんの心情をとらえさせ、関係の変化に気付かせる。	2 大造じいさんと残雪の関係を話し合う。 T 二人の関係を「大造じいさんとガンは～」で表現してみましょう。 C 一生のライバル。 C 一人の人間対人間。 T 大造じいさんは、ひきょうだったのかな？大造じいさんが言った「ひきょうなやり方」とは、どのようなやり方のことでしょうか。 C 一対一ではなく、他と戦って、相手が自分ではない残雪を取ろうとすること。 C 仲間を守ろうとして戦い、弱っている残雪を取ろうとすること。 C おとりのガンを使って、そのおとりのために必死で戦う残雪を取ろうとしたこと。
	手立て 大造じいさんの残雪への語りから「ひきょうなやり方」「正々堂々」をキーワードに、課題を焦点化する。	3 大造じいさんの生き方を意味づける。 T 大造じいさんは残雪と出会って幸せだったでしょうか。 C 大造じいさんは残雪と出会って、自分の猟師としての生き方を考えることができたから幸せだったと思う。 C 大造じいさんは、残雪と戦うことができて幸せだったと思う。相手のために戦うことのすばらしさを知ることができたから。 C 残雪との戦いは一生忘れられないと思う。みんなに語るほど大きな出来事だった。
	手立て 前書きを想起させ、「なぜ、大造じいさんはみんなに残雪との話をしたのか」と考えさせる。	4 物語のテーマを考える。 T 二人の関係の変化からテーマを考えましょう。「この物語から～が伝わってきます」と書き表してみましょう。 C 正々堂々と戦うことのすばらしさ。 C 真のライバルはお互いの生き方を豊かにする。 C すばらしいことをすばらしいと思える心が大切。
	・残雪の姿に感動する大造じいさんの生き方をどう意味づけるか自分の考えをノートに書かせて班で交流させる。	5 学習のまとめをする。 T：今日の学習をリーフレットにまとめましょう
手立て 中心人物と対人物の関係からテーマが見つけれられるという学習を活用して、物語のテーマを考えさせる。		
手立て 残雪によって、生業である猟ができなくなったこと、猟師としてのプライドを傷つけられたことにふれてゆさぶり、残雪のすばらしさを認める大造じいさんの生き方のすばらしさをとらえさせる。		
手立て 「人物関係カード」に関係を書き込ませる。		
手立て 「中心人物と対人物の関係」を着眼点として物語を読むおもしろさを押さえる。		

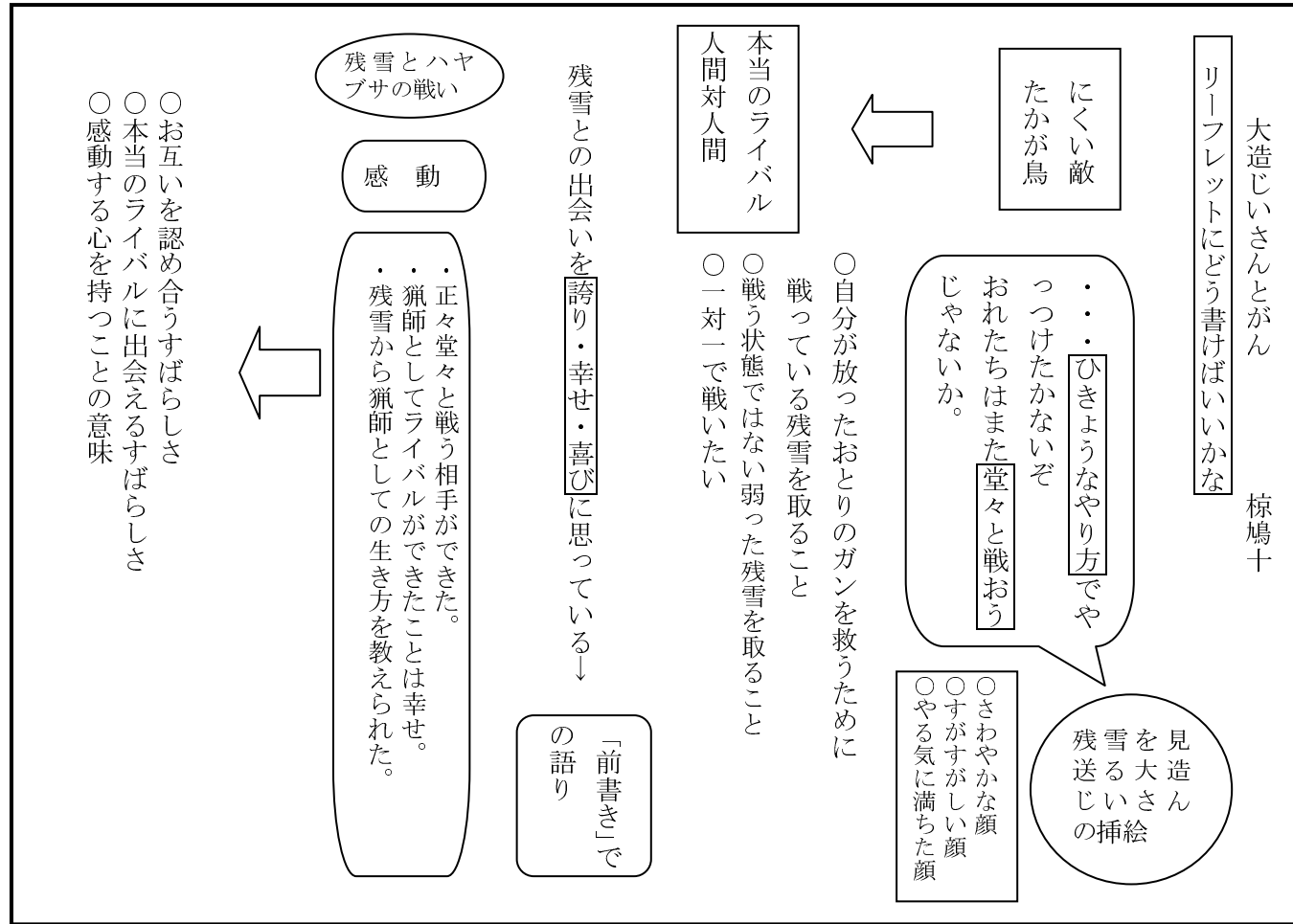
**本時の目標** 物語ポスターに人物をどのように描くかを考えることを通して、人物の関係をとりえ、太一の変容の理由を考え自分なりに考えたテーマを表現することができる。

**評価規準** 村一番の漁師へと成長した太一をとらえ、その変容に影響した人物の関係を考え、物語のテーマを表現することができる。

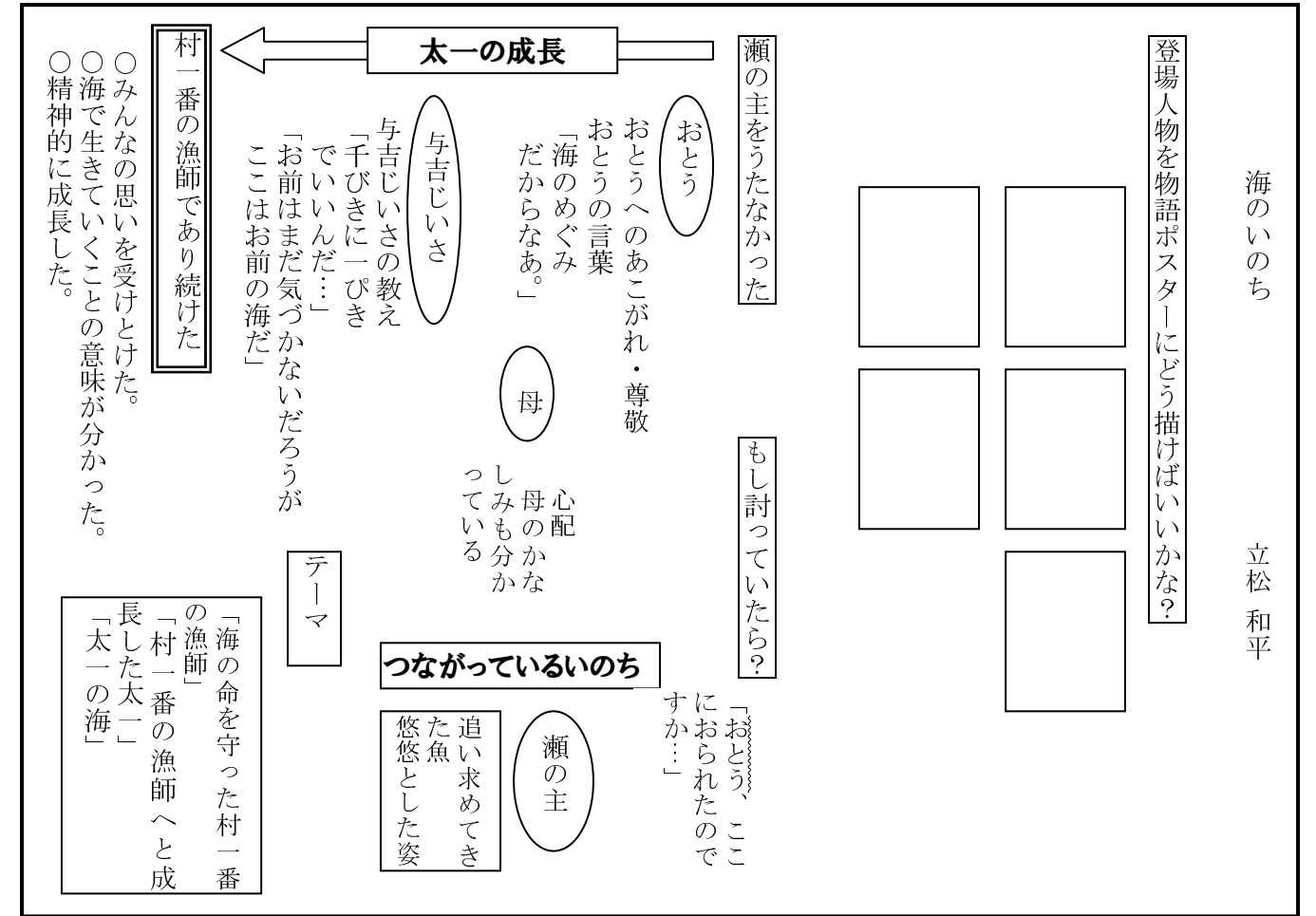
**学習の展開**

学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1 本時の課題を確認し、ポスターの人物の描き方を考える。	・前時までの学習を想起する。太一が追い求めていたクエを討たなかったことを確認する。	☆ 村一番の漁師へと成長した太一をとらえ、その変容に影響した人物の関係を考え、物語のテーマを表現することができる。(ポスター、発言)
2 登場人物の相関関係を話し合う。 T 太一は大きく変容しました。太一の変容に一番大きな影響を与えた人物は誰でしょう？ <b>登場人物をポスターにどのように描く？</b>	手立て 中心人物太一を中心に、登場人物がどのように影響を与えているかを人物の大きさと表わすことを押さえておく。	
	手立て 児童が書いたポスターをもとに、太一が誰のどのような言動に影響されたのか話し合わせる。その際、母やクエの存在について考えさせる。	
C 与吉じいさ。太一は与吉じいさの弟子になって一人前の漁師になったから「千びきに一びきでいい」といのちの大切さを教えてくれたから。 C おとう。太一が目標としたおとうを倒したクエを追い求めて漁師になったから。クエをみて「海のめぐみ」という意味が分かった C 太一は母の思いも分かっていたから母も影響している。 T 村一番の漁師とはどのような漁師なのでしょう。 C みんなの思いを受けとめた。 C 海で生きていくことの意味が分かった。 C 精神的に成長した。	・太一の考えを変えさせた人物の言葉にも着目させる。	
3 物語のテーマを考える。 T 今日の学習からポスターにどのような言葉を書きたいか考えてみましょう。 C 「海の命を守った村一番の漁師」太一を取り巻くみんなの思いを理解することができたから。 C 「村一番の漁師へと成長した太一」海で生きることの意味をみんなから教えてもらいずっと村一番でいたから。 C 「太一の海」海のめぐみを太一が守り続けたと思うから。 C 「みんなと生きる」海の生き物だけでなく、おとうや母や与吉じいさや妻や子どもたちみんなと生きているから。	手立て 与吉じいさの「お前は気づいていないだろうが・・・」の言葉の意味を話し合わせる。与吉じいさの思いに迫る。	
4 書いたことばを交流する。	手立て クエをしとめたときの村一番としとめなかったときの村一番を比較させ、太一の心の成長、人としての成長に気づかせる。	
T 題名にはどんな意味があるのかを考えて、ポスターを完成させていきましょう。	手立て 板書で物語のテーマを視覚的にとらえさせ、どのような言葉をポスターに書くかを考えさせる。	
	手立て 物語のテーマである「太一の成長」「自然との共存」を意味付けし、自分なりの表現で表すことを押さえる。	
	・人物の相関関係をとりえた言葉を評価する。	
	・題名がテーマを表わしていることにふれ次時につなぐ。ポスターにテーマを書き入れポスターを完成させることを告げて意欲付けとしたい。	

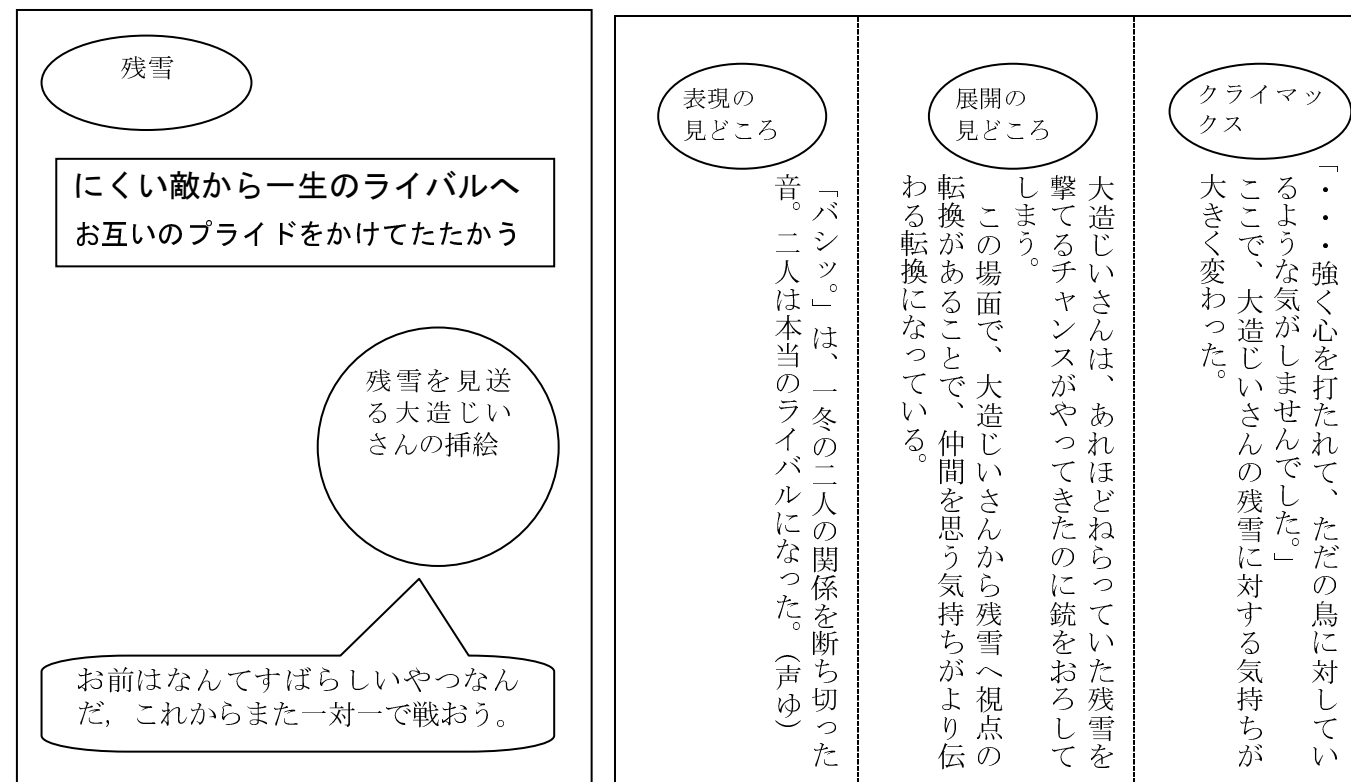
○板書計画



○板書計画



《言語活動例》 物語リーフレット



表紙

《言語活動例》 物語ポスター

